

# 便器洗浄後、ボウル内の水が減ったり、なくなったりする

## ✓ 対象品

大便器全般

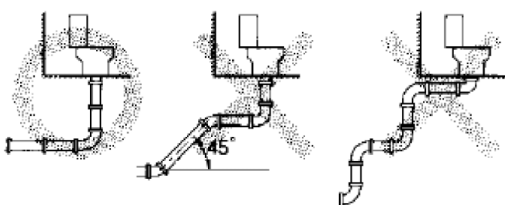
## ✓ 原因

便器洗浄後、汚物などは便器の排水口から排水管を通して屋外へ排出されます。その排水管が浄化槽や下水管までの間にいくつも曲がっていたり、排水管に通気が取られていない場合、便器からの汚物を含む洗浄水が流れると同時に空気も一緒に引っ張ります。そのために、排水管内で負圧（排水管からの引っ張る力）が発生して便器内に溜まった水を吸い込むために便器内の水が減ったり、減ったりすることがあります。

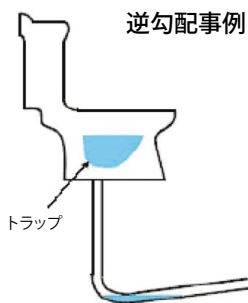
## ✓ 具体例

ストーブなどに手押しポンプで灯油を入れる場合、ポンプ上部にあるネジキャップを閉めて入れます。それは排水管に通気がないのと同じ状態で、そのままポンプを押すとポンプ内に負圧が発生するために灯油が入る訳です。逆に、ポンプのネジキャップを開けたまま入ると、負圧が発生しないために灯油は入りません。また、排水管が逆勾配（便器側の排水管が低くて、下水管側が高い事象）の影響で排水管内に水溜りがあったり、排水管内に異物などが詰まっている場合でも、排水管内でサイホン現象が起こって便器内の溜まった水を引っ張って減ることもあります。

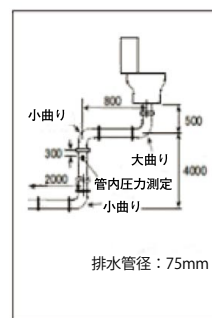
排水管路曲がり事例



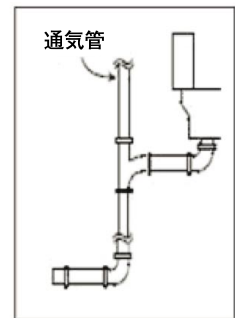
逆勾配事例



順勾配となるよう、配管の手直しを行ってください。



通気なし



通気あり

通気なしの負圧状態は、通気ありの約4倍発生する